

平成28年度

運営に関する計画

中間評価

大阪市立十三小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○ 全国学力・学習状況調査においては、算数Aや理科の結果にはやや課題が残ったが、その他は全国平均を上回るよい成績を上げた。無回答率は全国平均より低く、大阪市と比較すると約半分である。学習理解度調査における通過率については、教科平均・学年平均共に80%以上を達成することができた。しかし、基礎的・基本的な内容の理解が十分でない児童や、一定の理解はできているものの、発展的な内容の理解は難しい児童がいるなど、学力の二極化がみられる。また、家庭で復習する児童は80%を超えるようになってきてはいるが、学習内容の定着に課題のある児童もいる。読書をする習慣は60%を切っており、十分には定着していない。

今後、話し合い活動や発表などを積極的に取り入れて、児童主体の授業形態を重視するとともに、「わかる」「できる」授業の創造に努める。

○ 97%の児童は朝ごはんを食べているが、早寝、早起きができている児童の割合は65%であり、睡眠不足や、長時間のテレビ、ゲーム、携帯電話、パソコン等の使用など、健康面で課題がある。給食後の歯磨きについては、できている児童が90%に達するようになり定着してきている。

また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、男女共に握力と反復横とびでよい結果が出ており男子は全国平均を超えているが、女子は多くの種目で課題が残っている。

今後、持久力を高める運動を中心にして、運動の日常化、強調週間等特化した取組、体育学習時の工夫等を通して、体力が高まるように計画していきたい。そして、運動に親しみ運動を楽しむ児童を育成していきたい。

○ なかよし班活動や異学年交流等を通して、児童間で温かい人間関係が築けるようになってきている。友だちにやさしく親切に接していると答える児童も81%になった。今後も、日々の学校生活や各教科・道徳・特別活動などを通して、自分の気持ちを相手に伝え、相手の立場も理解できる児童の育成をめざしていく。また、これまでの課題であった自分のよさに気付く児童が77%になり、自尊感情の高まりがうかがえるようになってきた。一方、学校のきまりを守っている児童の割合は82%にとどまった。

今後は、児童にきまりの内容をしっかりと認識させ、きまりを守る態度を育てていくために、児童の実態をしっかりと捉えてさらに指導の徹底を図っていきたい。

○ 家庭・地域との連携の推進については、年度当初に年間計画を周知することで、目標以上の参加を得ることができた。学校ホームページへのアクセス数も大幅に伸び、学校教育活動に対するの関心に高まりと広がりが見られるようになってきた。

今後、さらに学校からの情報発信に努め、地域・家庭に理解と協力・支援を求めていく。本年度は創立90周年の年になるので、これを契機として、学校教育への関心をさらに高めることができるようにしていきたい。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 平成28年度、全国学力・学習状況調査において無回答率の児童を10%以内にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、各単元テストの正答率を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、学校アンケートで「あなたは学校の復習をしていますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連・グローバル化改革関連)

【視点 健康・体力の保持・増進】

- 平成28年度、学校アンケートにおける「給食後にきちんと歯みがきをしていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、全国体力・運動能力、運動習慣調査における「20mシャトルラン(持久力)」の平均記録を全国平均以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、学校アンケートにおける「9時までに寝ていますか(1～3年)」「10時までに寝ていますか(4～6年)」の項目について「はい」と答える児童の割合を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成28年度、学校アンケートにおける「自分のことが好きですか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、学校アンケートにおける「あなたは、友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 平成28年度、学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 学校・地域の連携】

- 平成28年度、学校教育に関わる取組への家庭・地域の参加者数を、年間400人以上にする。
(ガバナンス改革関連)
- 平成28年度、学校から発信する情報を充実させ、取組内容の認知度を90%以上にする。
(保護者アンケートにより検証する) (ガバナンス改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 全国学力・学習状況調査において無回答率の児童を10%以内にする。
(カリキュラム改革関連)
- 各単元テストの正答率を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートで「あなたは学校の復習をしていますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連・グローバル化改革関連)

【視点 健康・体力の保持・増進】

- 学校アンケートにおける「給食後にきちんと歯みがきをしていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における「20mシャトルラン(持久力)」の平均記録を全国平均以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「9時までに寝ていますか(1～3年)」「10時までに寝ていますか(4～6年)」の項目について「はい」と答える児童の割合を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「あなたは、友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 学校・地域の連携】

- 学校教育に関わる取組への家庭・地域の参加者数を、年間400人以上にする。
(ガバナンス改革関連)
- 学校から発信する情報を充実させ、取組内容の認知度を90%以上にする。
(保護者アンケートにより検証する) (ガバナンス改革関連)

大阪市立十三小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 平成 28 年度、全国学力・学習状況調査において無回答率の児童を 10%以内にする。 (1.7%) (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 各単元テストの正答率を 80%以上にする。 (1 学期末現在 82.2%) (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 学校アンケートで「あなたは学校の復習をしていますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を 80%以上にする。(87%) (カリキュラム改革関連・グローバル化改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 基礎・基本の定着】 基礎的・基本的な内容を確実に定着させるために、3～6年生の国語と算数における習熟度別指導を充実させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 習熟度別指導を年間 900 時間以上実施する。(9/9 現在 509 時間)</p>	B
<p>取組内容②【区分 授業研究を伴う校内研究の充実】 国語科の研究や研修を通して、児童の読む力を育てる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 ①全学級が国語科の協働的な学習を取り入れた授業研究を年 1 回以上実施する。 (5 学級が実施済)</p> <p>② 国語科が「楽しい」と答える児童を 80%以上にする。(73%)</p>	B
<p>取組内容③【区分 言語力や論理的思考能力の育成】 各教科や領域指導において、コミュニケーションの育成を図る言語活動を取り入れた授業を行う。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 各教科・領域指導において、ペア交流やグループ交流・全体交流などコミュニケーションの育成を図る言語活動を取り入れた授業を 1 日に 2 回以上行う。(1 日平均 3.6 回)</p>	A
<p>取組内容④【区分 学習習慣の確立】 全学年で毎日課題を提供し、学習習慣の定着をはかる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 ①課題の提出率を 85%以上にする。(90.8%) ② 漢字検定の合格率を 70%以上にする。(3 学期に実施) ③ 1 日 10 分以上、週 5 日以上、読書をする児童を 70%以上にする。 (学校で週 3 日以上 84%、家庭で週 2 日以上 34%)</p>	B
<p>取組内容⑤【区分 ICT を活用した教育の推進】 各教科や領域指導に ICT を活用し、授業を行う。 (グローバル化改革関連)</p> <p>指標 各教科や領域指導で ICT を活用した授業を週 2 回以上行う。(週 3.8 回)</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【視点 学力の向上】年度目標の達成状況

- ① 放課後に指導を行ったり、あきらめずに問題に取り組むことの指導を続けたりしたことにより、無回答率を下げる事ができた。
- ② 学習内容の理解を深める授業方法を工夫したり、日々の復習を確実にを行う指導を行ったりすることで、目標を達成することができている。
- ③ ステップアップ教室やいきいき活動教室などの活用により、家庭学習の環境が整いにくい児童も学習する場の確保ができるようになり、目標を達成することができている。

取組内容①【区分 基礎・基本の定着】の進捗状況

- ・ 習熟度別指導を計画的に行うことにより、個に応じた指導が行き届くようになってきており、児童の学習意欲も高まってきている。一人一人の学習理解度に合わせて指導を行い、基礎的・基本的な内容の定着を図れるようになってきた。
- ・ 習熟度別学習担当者と担任とが打ち合わせをし、習熟の度合いに合った学習内容を実施することで、児童が自分に合ったコースで学習することができている。
- ・ 復習プリントや漢字、計算の練習プリントなどを活用し、基礎基本の定着を図るようにしている。（東書 Web の活用）

取組内容②【区分 授業研究を伴う校内研究の充実】の進捗状況

- ① 全学級による国語科の協働的な学習を取り入れた学習の授業研究を計画通り実施することができている。（現在5学級が実施済）
授業研究を通し、より良い授業展開の在り方について全教員が研究を深めることができている。
講師先生による国語科の研修会を1回実施、国語科の様々な研修会への参加、研修内容の伝達講習会、ミニ研修会等を随時実施し、校内研修の充実を図っている。
- ② 国語を「楽しい」と、答える児童は73%にとどまっており、さらなる指導の工夫が必要である。
しかしながら、昨年度末のアンケート結果（63.1%）よりは、良い結果となっており、昨年度からの実践が生きてきていると考えられる。

取組内容③【区分 言語力や論理的思考能力の育成】の進捗状況

- ・ 各教科、領域指導において、ペア交流、グループ交流、全体交流などコミュニケーション力の育成を図る言語活動を行っている。その結果、話すことに抵抗を示す児童が少なくなってきた。

取組内容④【区分 学習習慣の確立】の進捗状況

- ① どの学級も毎日課題を提供し、学校での復習に取り組めるようにしてきた。また、日頃の声かけにより、課題の提出率は目標の85%を超え、概ね提出はできており、家庭学習の定着が進んでいる。
- ② 未実施である。3学期の漢字検定に向け、漢字の小テストを行うなどして履修した漢字の定着を図っている。
- ③ 読書タイムや毎日の中での隙間の時間等を使い、読書を楽しむ児童は、目標を超えることができている。しかし、家庭での読書については定着していない。

取組内容⑤【区分 ICTを活用した教育の推進】の進捗状況

- ・ 電子黒板、大型テレビで教材や資料、写真、児童のノートを拡大して提示し、児童の興味関心を高め、理解を深めることができている。
- ・ インターネットを使った調べ学習を行ったりしてきたので、児童の学習意欲が高まっている。
拡大資料や電子黒板、パソコン、デジタル教科書の活用、NHK 配信の教育ビデオ等を活用し、視覚的に理解できる教材を適宜利用している。

- ・ 授業用パソコンやタブレットを中心としたICTの研修会を実施し、指導者の技術向上を図った。

今後の改善点

【視点 学力の向上】の改善点

- ① 学力向上委員会で話し合った内容を全教員で共通理解し、その重点課題である「聞くこと」についての指導を徹底させる。
- ②③学力の二極化を克服するための手立ての工夫を図る。
基礎的・基本的な内容の定着が不十分な児童に対する個別指導の充実や生活習慣の確立、家庭での学習環境の整備等、家庭への啓発を引き続き行っていく。

取組内容①【区分 基礎・基本の定着】の改善点

- ・ 児童の習熟に応じた学習指導の工夫をすすめる。
- ・ 授業時間内における学習内容の定着を図るための習熟時間の確保。そのための指導内容の工夫。
- ・ 学力の二極化に対応したグループ分けの工夫
- ・ 習熟度担当・コーディネーター・担任とで、單元ごとに少人数指導と習熟度指導、一斉指導の効果的な使い分けができるように打ち合わせを行い、児童の理解を進めるようにする。
- ・ 国語科における習熟度別学習についての研究を深め、今後の指導に活かしていく。

取組内容②【区分 授業研究を伴う校内研究の充実】の改善点

- ① 今後も計画通り、授業研究を進めていくようにし、研究授業や研修で培ったことを普段の授業に活用していくようにする。
- ② 国語科がさらに好きになるような取り組みを、日常的に実施していくようにする。
暗唱や音読、読書活動、協働的な学習を実施できる場の工夫（国語科だけでなく）
・「今月の名文」を決めて、全校児童で暗唱する。（国語部が準備する）

取組内容③【区分 言語力や論理的思考能力の育成】の改善点

- ・ どの教科・科目においても目的をもって話し合う活動を通して、協働的な学習のよさを体感させる。
- ・ 発言が苦手な児童が自信を持って発表できるよう、話し方、聞き方の話型やハンドサインなど活用しながら、継続して取り組んでいく。

取組内容④【区分 学習習慣の確立】の改善点

- ・ 課題提出率の悪い児童が固定化しないよう、提出しにくい児童の実態をつかみ保護者とも連絡を取り合って対応していくようにする。
- ・ 「放課後ステップアップ教室」「淀川区補習充実事業」の活用を更に進め、個別指導が必要な児童については放課後個別指導を行っていく。
- ・ 朝の読書タイムが少なくなったが、工夫してそれに見合う読書時間の確保をしていく。家庭で読書をする児童が少ないので、課題に読書を設定するなど、家庭でも意識して読書の機会が持てるようにしていく。

取組内容⑤【区分 ICTを活用した教育の推進】の改善点

- ・ タブレットや授業用ノートパソコンを活用した研修の充実を図る。
- ・ タブレットを使った授業のモデルを紹介したり、授業を参観する機会をもつことで指導者のICT機器の活用力を育成するとともに、児童のICT活用力を育成する。
- ・ SkyMenu（タブレット、授業用パソコン）を活用した授業の推進を図る。

大阪市立十三小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持・増進】</p> <p>① 学校アンケートにおける「給食後にきちんと歯みがきをしていますか。」の項目について「はい」と答える児童の割合を90%以上にする。(83%) (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣調査における「20mシャトルラン(持久力)」の平均記録を全国平均以上にする。(後期に全国平均の発表あり) (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 学校アンケートにおける「9時までに寝ていますか(1～3年)」「10時までに寝ていますか(4～6年)」の項目について「はい」と答える児童の割合を70%以上にする。(61%) (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 健康な生活習慣の確立】</p> <p>生活目標や健康週間、保健指導や学級指導等を計画・実施し、「給食後の歯みがき」の習慣を身につけさせる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 健康週間を学期に1回設定し、学期ごとに「給食後の歯みがき」の達成状況をグラフ化する。(毎月実施)</p>	B
<p>取組内容②【区分 体育的活動の充実】</p> <p>外遊びやなわとび運動、かけ足運動を推進し、体力向上への意識を高める。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 ① 2, 3学期に「なわとびチャレンジ週間」を実施し、「なわとび3級」以上の児童を80%以上にする。(2, 3学期に実施)</p> <p>② 1日1回以上、外遊びに取り組む児童を80%以上にする。(86%)</p> <p>③月に1回「かけ足タイム」を実施し、走る運動に取り組ませる。(毎月実施)</p>	B
<p>取組内容③【区分 睡眠】</p> <p>健康週間、保健指導や学級指導等を計画・実施し、「早寝・早起き」の習慣を身につけさせる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 健康週間を学期に1回設定し、学期ごとに「早寝・早起き」の達成状況をグラフ化する。(実施済)</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【視点 健康・体力の保持・増進】年度目標の達成状況</p> <p>① 「健康週間」「きら・ピカウイーク」を計画的に実施し、意識付けを行っている。その結果、83%の児童は食後の歯磨きが定着しており、目標値に近づきつつある。</p> <p>③ 「学校だより」や「保健だより」等で家庭に各学年に適した就寝時刻を知らせたり、「健康生活チェ</p>

ック表」で、就寝時刻を振り返ったりして啓発活動を行っている。睡眠の大切さを理解し、守ろうとする意識の高まりはみられるが、家庭の事情などで、達成が困難な状況もあり、児童の9%が目標時刻に就寝できていない。

取組内容①【区分 健康な生活習慣の確立】の進捗状況

健康週間を学期に1回設定するとともに、毎月「きら・ピカウイーク」を設定し、「給食後の歯みがき」の習慣を身につけるように指導が行われている。また、健康週間の達成状況をグラフ化し、成果と課題を「見える化」している。そのため、朝と夜の歯みがきについては90%以上を達成し歯磨きをする習慣は身につけていることがうかがえる。だが、「給食後の歯みがき」については、歯みがきの時間の確保等に課題が見られ、目標達成には至っていない。

取組内容②【区分 体育的活動の充実】の進捗状況

- ① 1学期、なわとび週間はなかったが、なわとびカードを活用し体育の授業の始め等に、なわとび運動に取り組んだ。
- ② 天気のいい日は外に出て遊ぶよう声かけをしたり、みんな遊びを計画して行った。なわとびの日やフープの日、学級ボールの整備により、多くの児童が外遊びをしている。かけ足タイムの他にかけあしカードを活用し意欲付けを図っている。

取組内容③【区分 睡眠】の進捗状況

今年度より、「ヨドネル」として区をあげて睡眠に取り組むことや、健康週間・保健指導・ほけんだより等により睡眠の大切さについて指導が図られている。また、学期ごとの健康週間の達成状況もグラフ化されており、成果と課題の「見える化」を図っている。6月の学校保健委員会で睡眠について取り上げ、睡眠の大切さについて学習を進めてきた。健康週間や週目標等で児童が早寝、早起きを意識するようになってきている。

今後の改善点

【視点 健康・体力の保持・増進】の改善点

- ① 給食タイマーを活用し、時間通りに給食が始められるようにすることで、歯磨きの時間を確保するようにする。また、給食後の休み時間に歯磨きができない場合でも、5時間目後に行くなど、必ずその日のうちに終わられるように児童に声をかけていくようにする。
- ③ 低・中・高学年に応じた睡眠時間の見直し（2学期より実施）。
学校だよりや保健だより、学校HP等を通じて保護者への協力を呼び掛ける。

取組内容①【区分 健康な生活習慣の確立】の改善点

一定の時間が来たら給食を終えて歯みがきの時間を確保し、給食後の歯みがきについて指導の徹底を図る。また、保健指導や日常の取り組みを通して、歯磨きをすると気持ちがいいという意識を持たせるようにする。

取組内容②【区分 体育的活動の充実】の進捗状況の改善点

- ① なわとびの日の15分休みになわとび記録会を実施する。
(30秒間に連続で跳べた前とびの回数を記録とし、記録は掲示する。参加は希望者のみ。)
なわとびチャレンジ週間には、なわとびカードの拡大版を掲示板に掲示して、学校をあげてなわとびを意識させる。
- ② なわとびや外遊びに取り組む児童がさらに増えるように、クラス遊びなどの計画を立てみんなが楽しく参加できるような取り組みを行っていく。
- ③ かけ足カードをクリアした児童を掲示板で紹介する。

取組内容③【区分 睡眠】の改善点

児童に「早寝・早起き」の継続指導を行うと同時に、学校だよりや保健だより、学校HP等を通じて保護者への協力を呼び掛ける。

大阪市立十三小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>① 学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。(77%) (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 学校アンケートにおける「あなたは、友達にやさしく・親切に接していますか」の項目について、「はい」と答える児童の割合を80%以上にする。(83%) (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「はい」と答える児童の割合を90%以上にする。(88%) (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>自尊感情を高めるとともに、互いを認め合う態度を育てることができるよう、年間計画に基づいて人権教育を実施する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 ① 月1回以上、なかよし班活動や児童集会などの異学年交流を図り、互いに理解し学び合う機会を設定する。(月約3回実施)</p> <p>② 各種名人を様々な分野で設定し、児童みんなで認め合う場を設ける。(学期に1回実施)</p>	A
<p>取組内容②【区分 特別支援教育の充実】</p> <p>「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」を作成し、それらに基づく指導を実施するとともに、特別支援を要する児童と周りの児童がともに活動・交流する機会を増やす取組を実施する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 ① 特別支援を要する児童と周りの児童が、ともに活動・交流しながら理解し学び合う機会を毎月実施する。(児童集会などで毎月実施)</p> <p>② 保護者や医療機関、子ども相談センター等との連携を月1回以上実施する。(月1回以上実施)</p>	A
<p>取組内容③【区分 道徳教育の推進】</p> <p>道徳の時間を要として、各教科・領域で話し合いやグループ活動等で、相互理解・共感を広げる取組を行うことにより、だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする子どもを育成する。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 ① 年間指導計画に基づいて学習指導要領に示されている全ての項目を指導する。(1学期末で42%実施済み)</p> <p>② 全学年が道徳の授業を、年1回授業参観で実施する。(全学年実施済)</p> <p>③ 年2回「親切・思いやり」週間を実施し、自分自身を振り返る活動を行う。(6月に1回目を実施済、12月に2回目を実施予定)</p>	B

<p>取組内容④【区分 基本的生活習慣の定着】 学校のきまりを守ることに生活目標を設定し、日常的に繰り返し指導する。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標 ① 毎週、生活目標についてアンケートを実施し、達成状況を確認する。(毎週実施) ② チャイムの合図を守る児童を80%以上にする。(84%)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】年度目標の達成状況</p> <p>① 各教科や道徳、親切・思いやり週間を中心に、自尊心を高めるための取組を行ってきたが、「自分にはいいところがある」と答えた児童は77%で、目標にはわずかに達しなかった。</p> <p>② 思いやりの心を育てるよう、あらゆる場面で個別や全体に指導を行ってきた。「友達にやさしく・親切にしている」と答えた児童が目標値を上回ることができた。</p> <p>③ 学校のきまり・規則を守っている児童が多く、目標に近づきつつある。</p> <p>取組内容①【区分 人権を尊重する教育の推進】の進捗状況</p> <p>① なかよし班の活動を中心に、月に約3回の交流する機会を持っている。集会やなかよし班、隣接学年等の異学年交流を通じ、互いに理解し合い、年長者が年下の学年児童をいたわる態度が育ってきている。</p> <p>② 暗唱・読書・なわとびの名人や、十三がんばり名人の取り組みが計画的に進められている。名前を紹介することで他者理解が深まるとともに、自尊感情が高まってきている。</p> <p>取組内容②【区分 特別支援教育の充実】の進捗状況</p> <p>① 学校行事、児童集会などの縦割り班活動、委員会やクラブ活動など、様々な場面での交流が、互いに理解し、学び合う機会となっている。</p> <p>② 学校での様子や家庭での様子を伝え合う毎日の連絡ノートや、なかよし学級保護者会などを通して、保護者と学校、保護者同士の連携・交流を進めることができている。また、必要に応じて医療機関等と連絡を取り合い、支援を要する児童に配慮するよう努めている。</p> <p>取組内容③【区分 道徳教育の推進】の進捗状況</p> <p>① 年間計画の見直しを行い、すべての項目が実施できるように、計画を立てて実施している。また、学期ごとに、実施状況を把握できるように工夫している。また、研修会を実施し、教科化へ向けて、準備を進めている。</p> <p>② 2学期以降で実施予定。</p> <p>③ 6月の「親切・思いやり週間」で、人を傷つける言葉と嬉しくする言葉について学習し、児童の作成したカードを掲示することで、「思いやりの心」について意識を高める機会となった。また、必要に応じて、「親切・思いやり週間」の取り組みを思い起こし、思いやりの気持ちを言葉で表す指導を行っている。</p> <p>取組内容④【区分 基本的生活習慣の定着】の進捗状況</p> <p>① 児童朝会や朝の会、放送などで生活目標を話すことにより、児童がその週の目標を意識することができていた。また、毎週末に生活目標についてアンケートを実施し、全教職員が児童の様子を把握するようにしている。</p> <p>② 進捗状況が84パーセントであり、チャイムの合図を守る意識を多くの児童がもっているが、一部、遊びを切り上げられなかったり、靴箱や水飲み場のところでしゃべったり遊んだりする児童の様子も見られる。</p>	

今後の改善点

【視点 道徳心・社会性の育成】の改善点

- ① 自尊感情を育てる手立ての工夫を更に充実させていく。
 - ・ 学習環境が定着しにくい児童への指導・支援の工夫
 - ・ 基礎的・基本的な学習が定着しにくい児童への指導・支援の工夫
 - ・ 「できた」「わかった」「楽しい」授業の推進
 - ・ 友達や教職員・保護者・地域の方々から認められる・ほめられる場の設定
- ② 継続指導する。
- ③ 学校のきまり・規則を守ることの意義を繰り返し指導することにより徹底を図る。

取組内容①【区分 人権を尊重する教育の推進】の改善点

- ① 計画的に進める。
- ② 目標を持たせ、努力を継続できるようにする。

取組内容②【区分 特別支援教育の充実】の改善点

- ・ 児童理解研修会や特別支援教育全体会などで支援計画・指導計画を確認し、気になる児童や支援を要する児童への対応、手だて、支援のあり方について共通理解をしていき、担任一人だけで児童の問題を抱え込まないようにしていく。
- ・ 特別支援教育コーディネーターを中心に、各担任・特別支援教育サポーター・発達障がいサポーターとの連携・協力体制を工夫し推進していく。

取組内容③【区分 道徳教育の推進】の改善点

- ・ これからも、年間指導計画に基づいて、道徳の学習を計画的に行っていくと同時に、学校教育活動全体を通して道徳教育を意識して指導に当たるようにする。
- ・ 相互理解・共感を広げるために、人の意見を肯定的に受け止めてから自分の意見を述べるよう指導していく。
- ・ 12月の「親切・思いやり週間」は、前年度に引き続き「思いやり絵手紙」を実施し、思いやりの心について考えていくようにする。

取組内容④【区分 基本的生活習慣の定着】の改善点

- ・ 学校のきまり、規則を守ることの意義を繰り返し指導する等により、指導の徹底を図る。
- ・ 教師、児童ともにチャイムの合図を守って行動することを意識していくことで、さらに時間を大切に使える児童を増やしていく。
- ・ チャイムが鳴ったら遊びを切り上げることの徹底と遊び終わりに靴箱前や水飲み場でのおしゃべり等への指導の徹底を図る。
- ・ 看護当番による指導を徹底するとともに、15分休みや昼休みの終わり時には担任等が児童の様子を確認する。必要があれば児童に声かけ等の指導をするようにする。

大阪市立十三小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学校・地域の連携】</p> <p>① 学校教育に関わる取り組みへの家庭・地域の参加者数を、年間400人以上にする。 (9/9 現在 235人) (ガバナンス改革関連)</p> <p>② 学校から発信する情報を充実させ、取組内容の認知度を90%以上にする。 (保護者アンケートにより検証する) (89%) (ガバナンス改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 学校・家庭・地域の連携の推進】</p> <p>学校行事や教科・領域指導・読み聞かせ・放課後ステップアップ教室・見守り隊活動・交通安全指導・防犯・防災訓練などの取組への家庭・地域の参加を図る。(ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 ①学校行事への参加を促すため、手紙やホームページなどで月2回以上参加を呼び掛ける。 (月約2回実施)</p> <p>② 学校協議会の年間の傍聴者数を5人以上にする。(9/9 現在 0人)</p>	B
<p>取組内容②【区分 情報発信】</p> <p>学校だより・学校ホームページを通して情報を発信し、学校の取組に対する情報の共有を推進する。(ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 ① 情報の共有を図るため、学校ホームページを週2回以上更新する。 (9/9 現在 週2.6回)</p> <p>② 学校ホームページの年間アクセス数を15000以上にする。 (9/9 現在 9887アクセス)</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【視点 学校・地域の連携】年度目標の達成状況</p> <p>① 前期において、学校教育に関わる取り組みへの家庭・地域の参加者数は235人となり、目標達成のため、引き続き参加を呼び掛けていく。</p> <p>② 学校だよりや、はなまる連絡帳、ホームページなどで、保護者に学校の情報を発信し、取り組み内容の認知度を89%にすることができ、目標達成まであとわずかである。</p> <p>取組内容①【区分 学校・家庭・地域の連携の推進】の進捗状況</p> <p>① 学校行事への取り組みを知らせるため、手紙やホームページなどで参加を呼び掛けた結果、多くの方の参加ができており、おおむね目標を達成している。</p> <p>② 傍聴者が0名であり、傍聴者の呼びかけが急務である。</p> <p>取組内容②【区分 情報発信】の進捗状況</p> <p>① 学校ホームページは9月9日現在、週平均2.6回更新しており、目標を上回ることができた。それぞれの取組を紹介することで、地域・保護者の方が関心を持って本校の取組を見ていただくことが</p>

できている。

② 9月9日現在で約1万アクセスを達成し、今年度の目標を達成できる見通しである。

今後の改善点

【視点 学校・地域の連携】の改善点

- ・ 今後も学校教育の取組への参加を呼びかけ、多くの方に参加してもらえるようにしていく。

取組内容①【区分 学校・家庭・地域の連携の推進】の改善点

- ① P T A・保護者の参加率を上げるため、P T A実行委員に声をかけたり、学校・学年だよりで参加を呼び掛けたりしていく。
- ② 今後の学校協議会に向け、傍聴者数が増えるようにP T A・教職員に呼び掛けていく。

取組内容②【区分 情報発信】の改善点

- ・ 大きな行事だけでなく、児童の日常的な様子や研究の取組などを随時紹介していけるようにすることで、保護者に本校の教育活動にさらなる関心を持ってもらえるようにしていく。